



横浜市立一本松小学校

6月号

令和3年5月31日
横浜市立一本松小学校
校長 高桑 透

学校だより

「できない→工夫→できる→楽しめる」

副校長 高木 圭子

初夏の風が心地よい季節となりました。朝顔が芽を出し、野菜はぐんぐん成長し、子どもたちは目を輝かせて世話をしています。

先日横浜市市民局よりオリンピック・パラリンピック推進校として、「神奈川県ゆかりの選手壮行会」に応援メッセージを撮影させてほしいとのご依頼がありました。短い時間ですが、「代表児童の応援メッセージ+グループエール」という形で、神奈川県の小学校から6校が選ばれました。どのようにしたら多くの児童が参加できるか考え、代表児童の言葉の後、5,6年生が校庭で15秒メッセージを撮るということにしました。

「一本松で メダルを 松(待つ)」というグループエールに合わせ、人文字で「松」をつくりました。準備期間のない中、担任、担当の先生方、子どもたちの柔軟さ、前向きさとオリンピック・パラリンピックの選手たちを応援したいという純粋な思いが表れたすばらしいものになりました。この模様は6月19日(土)の壮行会当日「横浜市東京2020関連情報公式 YouTube チャンネル」でライブ配信されます。楽しみにしてください。



オリンピック・パラリンピック推進校として大事にしている「共生」の意識。日々の活動を通して「できない→工夫→できる→楽しめる」ことを意識してきました。これはコロナ禍でも生かされている考え方です。今後もできないことはありますが、これまでの経験を生かし、できる方向を常に探ってまいりたいと思います。GIGA スクール構想も準備が進んでいます。ロイロノートの健康観察確認のご協力もありがとうございました。本校では、約8割強のご家庭の接続が確認されました。今回うまくつながらなかったご家庭にも必要な支援を考えてまいります。学校では授業の中で子どもたちが一人一台端末を使用して学習していくようになります。5,6年生の英語は「デジタル教科書実証事業校」としてデジタル教科書を使用して授業を行うこととなります。

子どもたちの「楽しめる」が増えるよう、教職員一同「工夫」を大切にしていきたいと思います。

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。